

二俣ふれあいセンターだより

No.573

令和6年10月5日号

発行：浜松市二俣ふれあいセンター TEL 926-1244

編集協力：二俣ふれあいセンター活動推進委員会

世帯と人口 R6. 9. 1 現在

区 分	世 帯	人 口
浜 松 市 (前月比)	357,995 (+217)	785,817 (-343)
天 竜 区 (前月比)	11,811 (-21)	25,046 (-62)
二 俣 地 区 (前月比)	2,637 (+5)	5,902 (+3)

令和6年度地域文化セミナー

つるクラフト講座

日 時 11月7日(木) 13:30~15:30

会 場 二俣ふれあいセンター 2階ホール

講 師 水野 正義 先生

定 員 15名(先着順)

対 象 浜松市に在住・在勤の方

受講料 500円(講座当日に受付で集金します。)

持ち物 軍手、剪定ばさみ、作品持ち帰り用の袋や箱

申込み 10月15日(火)~10月29日(火)

お電話または二俣ふれあいセンター窓口で

TEL053-926-1244(日曜・祝日を除く)



昨年度受講生の作品

山と森のナゾ解きクイズラリー はままつ

やまもり アドベンチャー2024 実施中!!

地図に書かれた場所をつきとめて、謎を解き「山のお宝」をゲットしよう!!
合計37名様に山の『豪華』お宝が当たります。

参加無料

誰でも参加OK

年齢制限なし

詳しくは、「やまもりアドベンチャー ゲームブック」をご覧ください。

(ゲームブックは、天竜区役所や各支所、ふれあいセンターに配架しています。)

・開催期間 11月30日(土)まで ・応募締切 12月6日(金)必着

・お問合せ 浜松市市民協働・地域政策課 中山間地域振興グループ(天竜区役所内)

TEL053-922-0200 Fax053-922-0049 Eメール chusankan@city.hamamatsu.shizuoka.jp

第20回 天竜芸術祭美術展の作品を募集しています!!

締切間近!!

締切迫る

・出品申込 期 間：令和6年10月1日(火)~11月1日(金)

お早めにご応募を

提出先：天竜区役所まちづくり推進課 文化生涯学習グループ

・種 目 写真、彫刻、造形作品、工芸、書道、日本画、水彩画、油絵、版画、デザイン

・お問合せ：天竜芸術祭美術展実行委員会事務局(天竜区役所まちづくり推進課 053-922-0086)

裏面もご覧ください

やまとまちのコラボによる山の魅力 体感イベント!

イベント

ザ・山フェス

日時 10月19日(土)・20日(日)

午前10時から午後4時まで

会場 プレ葉ウォーク浜北(浜名区貴布祢)
プレ葉コート&噴水広場

会場では、山の魅力を体感できる物産展やステージイベント、ワークショップなどを開催。お誘いあわせてお越しください。

詳しくは、チラシをご覧ください。(チラシは、天竜区役所や各支所、ふれあいセンターに配架しています。)

問合せ 浜松市市民協働・地域政策課
中山間地域振興グループ(天竜区役所内)
Tel053-922-0200 Fax053-922-0049

講座報告

子ども講座

「ダンボールで楽器をつくろう」

が開催されました。

8月8日(木)、児童15名と保護者6名が、ダンボールを使ったギターづくりに取り組みました。ダンボールの型紙を切り出し、できたパーツを糊づけ、最後に弦の代わりに輪ゴムを張って完成です。ストラップやアクセサリをつけたり、個性あふれる作品に仕上がりました。



講座報告

地域文化セミナー

「太極拳の入門8式を学ぼう パートII」

が開催されました。

8月15日(木)・9月5日(木)、12名の市民が参加し、太極拳の基礎となる「入門8式」を学びました。昨年度の講座がきっかけとなり、現在は受講者の有志を主体とする「同好会」が定期的に活動しています。同好会への加入・見学を希望される方は、ふれあいセンターにお尋ねください。



「二俣川の岸辺をきれいにする会」が活動しています!!

会員募集

きれいな二俣川の環境を維持するため、定期的に二俣大橋から双竜橋の間の草刈りやゴミ拾いを行っています。9月8日(日)には、今年度5回目の作業を行いました。会員は現在60人ですが、ご協力いただける方を募集中です。興味のある方は、二俣ふれあいセンターにお問い合わせください。(Tel053-926-1244)



北遠の祭り・歴史・自然

⑦袴田喜長と鳥羽山の掘割(天竜)

江戸時代、二俣川の氾濫に悩まされていた村民を救うため、名主の袴田喜長は、鳥羽山を掘り割って二俣川の水をまっすぐ天竜川に流し、洪水から村民を守ろうと決意しました。

明和3年(1766)工事に着手し、25年の歳月をかけて、寛政3年(1791)やっと難工事が完成しました。村民は、多額の私財をなげうって大工事に取り組んだ喜長に深く感謝し、現在もその偉業を称えるため、毎年10月に頌徳祭(しょうとくさい)が営まれています。



(参考資料) ふるさとガイドブック(二俣・光明編)